

瑞雲

ずい いうん

平成29年5月15日 発行
瑞雲：めでたいしるしの雲の意

第105号

明日を拓く 直方鉄工青年会

平成29年度
直方鉄工青年会 第53代会長 吉井 勇

会長スローガン

感謝

～半歩先の自分へ～



第53代会長を拝命いたしました 日新交易株式会社 吉井勇です。一年間どうぞよろしくお願いいたします。当会が53年目を迎えることができたのも、関係諸団体、特別会員の皆様の長きにわたるご理解とお力添えの賜物と重ねて御礼申し上げます。

昨年は、安倍政権4年目の「新アベノミクス」による、一億総活躍社会・経済最優先、諸政策によりその成果が徐々に形になってまいりましたが多くの諸問題も見えつつあり、消費税増税関連をはじめとする、社会保険料や高齢者医療負担の値上げ等々、政治・経済・社会環境面で厳しさを増す年となって新年を迎えました。世界情勢についてもアメリカの新大統領トランプ氏就任による「トランプショック」また、イギリスのEU離脱。北朝鮮の「ミサイル問題」等々、問題は山積です。この混乱を極める環境にて、我々、中小零細企業にとってまだまだ気の抜けない厳しい年となると考えられます。そんな時こそ青年会会員一人一人が自分の本分をしっかり全うし、あらゆる諸活動に全力で立ち向かってまいります。

我々、直方鉄工青年会は平成29年度、会員総数32名のスタートです。2年前は25名スタートでした。2年間で5名が卒業されました。とゆうことは12名が新しく入会したことになります。大変フレッシュな組織に生まれ変わってきています。新しい会員の皆様が当会に定着できるよう、会を挙げて努力していく所存でございます。引き続き皆様ご協力よろしくお願い申し上げます。

今年度は、私を含め成長を本丸とした一年にしたいと思っております。新入会員が増えたことにより全体的なレベルアップが急務になります。新入会員はもちろんのこと、中堅会員についても申しかりです。そこで今年度は、特別に、経営・育成委員会を設置させていただきました。中堅・若手会員の育成を主とした事業運営をお願いしております。

このようなことを踏まえて、今年のスローガンを「感謝 ～半歩先の自分へ～」とさせていただきます。感謝という言葉はすべてに通じると思っています。今、自分があるのは誰のおかげで成り立っています。仕事ができるのも、家族を持てるのも、青年会活動が出来るのも己一人の力では成立しません。もっと今ある仕事、生活、立場、行動などすべての環境に感謝の気持ちを持たなければなりません。この気持ちがあれば、おのずと己の行動・気持ちが見えてくると思っております。この行動・気持ちを、いち早く周りに知らしめるのが、己の成長であると思っております。通常であれば、一歩前進やSTEP UPと言いたいところですが、私は半歩と示させていただきました。昨日の己より今日一日で半歩成長した己へ。その積み重ねが、大きな一歩になると信じています。常に、感謝の気持ちを持ち、成長という形のみならずまに恩返ししたいと考えます。

私は当会について、経営管理者を育成する会ではなく経営者を育成する会だと思っております。経営者とはリスクを恐れず即断即決で意思決定する人、経営管理者は事業がリスクに陥らないように用心しコース通りの事業運営を心掛ける人だと私は思います。中小零細企業では小なりといえども社長となれば全社を背負う存在です。たった一人で、どんな試練にも強い覚悟をもって挑み、絶対逃げない姿勢が求められます。つまり、経営者と経営管理者の違いは、リスクに直面した時にどう向き合うかそこが分岐点になると思っています。青年会は、真のリーダーとは何たるものを学び切磋琢磨し成長していきたいと思っております。

私は2011年、平成23年に入会いたしました。先輩方のご指導により自分が井の中の蛙であったと思い知らされました。先代がたまたま父親であったから、社長であったからなれただけで、自分の力ではないと思い知らされる会活動でした。いまだに、社長業を出来ているのか、自問自答の毎日です。そういった思いにもなれたのは、青年会活動のおかげであると思っております。

経験と、実績がないのであれば、情熱とエネルギーをもって進んでいこうと思っております。青年らしく、元気に取り組んでいこうと思っておりますので、今後とも変わらぬご理解とお力添えの程宜しくお願い致します。

平成29年度 4月 通常総会・懇親会

平成29年度 直方鉄工青年会 4月通常総会



～入会のご案内～

ご入会・ご相談の窓口です。
ご興味のある方は是非お声掛けください!

連絡先 事務局長・会員拡大
石原一伯 090-5295-1295

ホームページのご案内

<http://nij.o.oo7.jp/>

毎月の例会・事業の写真を随時更新!
過去の瑞雲なども掲載しています!



委員長紹介 & 決意表明

事務局長

委員会スローガン 万里一空



石原 一伯

今年度、第53代吉井会長のもと事務局長・会員拡大を務めます(有)八大鋼業 石原一伯と申します。

青年会に入会し6年が経ちます。今期は事務局長と言う重要なポジションを任せて頂き、誠にありがとうございます。少し不安もありますが、やる気は人一倍あります。自分を見失わずしっかりと会をコントロールし、吉井会長をサポートできるように臨んでいきたいと考えております。

また今年度の事務局スローガンとして「万里一空」とさせていただきます。事務局は会の中心でありますので目的、そして目標をしっかり見て見失わずに励みたいという思いで、スローガンを付けさせていただきました。

また会長スローガンであります「感謝 ～半歩先の自分へ～」を胸に刻み一年間活動に励みたいと思っております。

まだまだ未熟ものですが、今後ともご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

総務委員長

委員会スローガン 俺がやる！！



大田 幹治

今期吉井会長より総務委員長を仰せつかりました、東亜工業(株)大田幹治と申します。

先立って、4月通常総会・懇親会へ御来賓・特別会員の皆様に多数御列席賜りましたこと厚く御礼申し上げます。

入会3年目で委員長という大役、更には総務委員長に任命頂き大変の引き締まる思いです。会員としてまだ経験も浅く未熟者ですが、委員長を務めさせて頂くからには成長はもちろんのこと結果も求められる1年だと思っております。

そこで委員会方針を「俺がやる！！」とさせていただきます。私自身がこの気持ちを持ち委員会を引っ張って行くのはもちろんのこと、副委員長や委員メンバーも「俺がやってやるんだ」という気持ちを持ち委員会活動を行えば、総会をはじめとする4つの担当事業・毎月の例会をより良いもの出来るのではと考えております。

最後になりますが、1年間委員長・副委員長共に1日1日半歩先の自分を目指し日々成長して行く所存です。何卒ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

厚生・広報委員長

委員会スローガン ENJOY!



吉成 雅仁

厚生・広報委員長を仰せつかりました、(有)吉成図工舎 吉成雅仁と申します。

初めての委員長職、そして本年度の組織構成では唯一“委員長が委員会内最年少”という立場であり、緊張と不安という荒波に襲われている日々ですが、持てる力を遺憾なく注ぎ、委員会ならびに第53代吉井丸が順調な航海を進められるよう務めさせていただき所存ですので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

委員会スローガンは「ENJOY!」とさせていただきます。委員会メンバーが委員会や担当事業の準備・運営を楽しめるように、そしてなにより私自身が誰より楽しんだと振り返れる委員会にしたいと思ひます。特に卒業生を送るタベでは5名の御卒業生を盛大に送り出せる楽しい事業にしたいと考えております。

他の委員長と共に切磋琢磨し、1年後に成長した姿をお見せできるよう努めますので、ご指導ご鞭撻のほど重ねてお願ひ申し上げます。

経営・育成委員長

委員会スローガン 一致団結



小野 龍平

今年度、経営・育成委員会委員長を仰せつかりました。(株)筑豊産業の小野龍平です。

青年会に入会して丸7年が経過し、この7年間振り返る事が多々あります。本当に自分は成長できているのかな……。最近では少なからず自分自身を客観的に見る事ができるようになり、やはり何もできていない自分がある事に気づく毎日で。

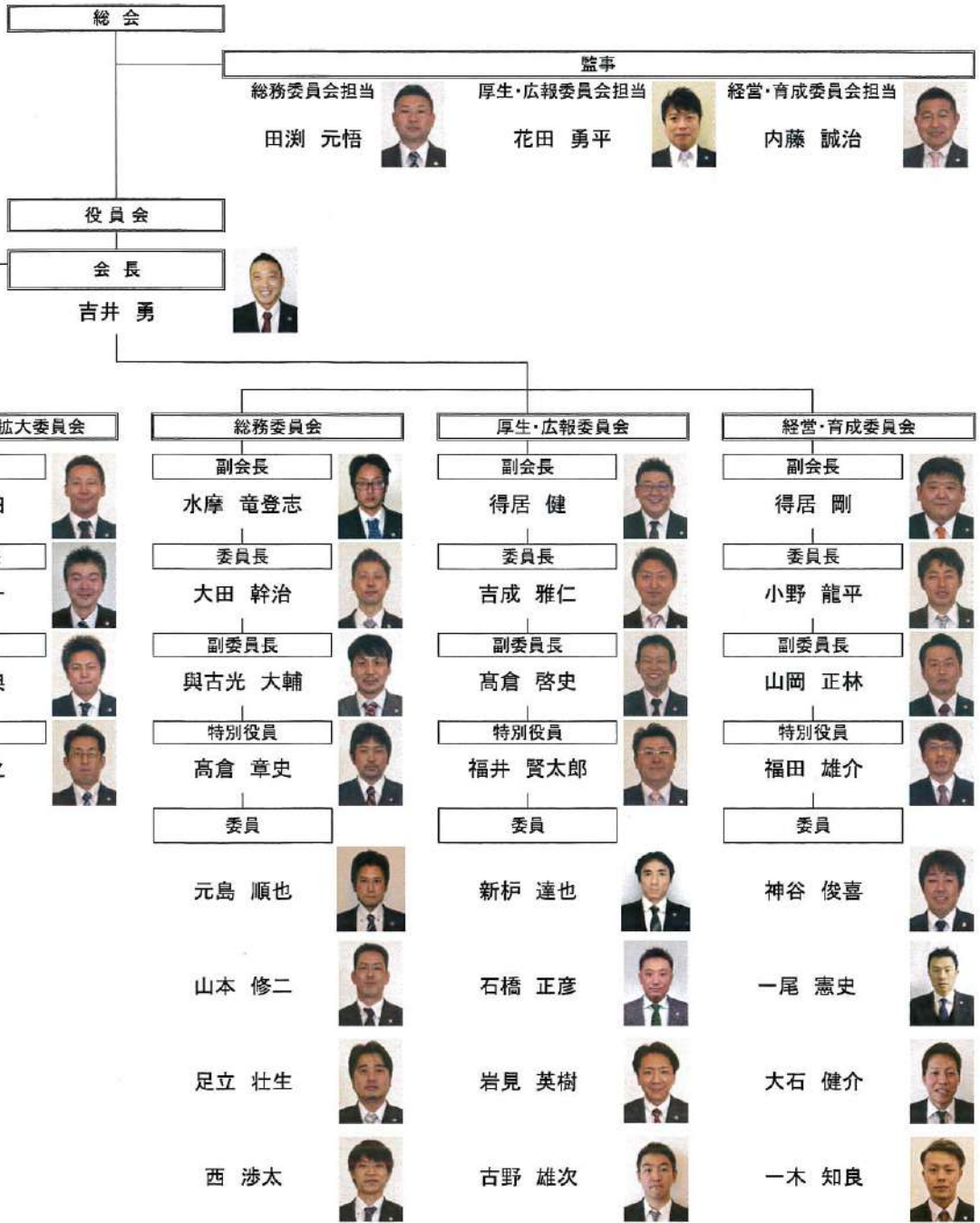
今年度は新たに育成委員会が会長の思いを込めて設立され、その委員長を託されました。中堅、若手会員の事を一番に考え、会の底上げを少しでもできるよう、また自分自身、少しでも成長できるよう精進する所存です。

前々年度より、後輩もたくさん入会し青年会は、いま一番活気があると思ひます。青年会がさらに活気づくよう委員長として、盛り上げていきたいと思ひます。

今年の委員会では『一致団結』をスローガンに掲げ、頑張っていきたいと思ひますので、何卒ご指導ご鞭撻よろしくお願ひします。

平成29年度 直方鉄工青年会 組織図

会員数 32
役員数 20



年間事業計画

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	その他
総務委員会	通常総会 懇親会	例会	例会	例会 スポーツ 事業	例会	例会	例会 レクリエーション 事業	例会	例会	例会	通常総会 懇親会	例会	
厚生・広報委員会					家族対象 事業			ENJOY 事業				卒業生を 送る夕べ	瑞雲発行 広報活動
経営・育成委員会		育成事業				経営事業				特別会員 合同 新年会			
事務局 会員拡大			会活性化 事業		初盆参り			産業祭り	忘年会 会長選考 委員会 餅つき		厄払い	会計監査	